

**第18号議案 令和4年度古賀市一般会計補正予算（第6号）について
ぬま健司の大綱質疑と田辺市長の第1答弁（2023年2月28日）**

今回の補正予算は6億4,762万9千円の追加となっている。市長は2月22日の本会議で提案理由の説明を口頭で行った。各種資料が配付されているが、補正予算全体の必要性や特徴の説明は不十分だった。そこで以下の点について市長の見解を求める。

ぬま健司の質疑	田辺市長の第1答弁
①議会に提出する補正予算案を 審議・決定 したのはいつ、どの会議か。	2月1日の三役査定で審議・決定した
② 地方自治法第218条第1項 で「予算の調製後に生じた事由に基づいて、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたとき」に補正予算を調製し、これを議会に提出することができる」と規定されている。今回の理由は何か。	事業毎に異なる理由により編成を行っており、事業毎の理由は、議案といっしょに提出しております「令和4年度補正 予算に係る全体概要」に示しているとおりでである
③ 基金積立の合計額が約8億円 となっているがその理由をどう説明するか。貯金ができることは良いことだが、このことをもって市の財政状況を評価できるか。	歳入が歳出より多くなったためであり、このこと自体は市の財政にとってプラスに働くものであるが、このことだけをもって市の財政状況を評価できるものではないと考えている
④歳入で 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 が5億7,560万8千円計上されているが、古賀市への配分額、活用実績はどのようになっているか。返還ということもあるか。	●現時点で確定している額は5億7560万8000円だが、活用実績は全事業が完了していないため年度終了まで不明。●全額活用する見込みであるため、返還する予定はない
⑤ 燃料費高騰対策運送事業者等支援金は1億1,246万7千円の減額補正 となっており、その理由は額確定によるとの説明だった。予算に対する執行率が約40%となることをどのように認識しているのか。	●対象を市内運送事業者等に限定した初めての事業者支援として実施したもの。想定事業者数300事業者に対し、81事業者への交付決定、予算執行率36.8%という実績だったが、最大値を想定した予算計上であり適切であったと認識している●事業者から直接私に感謝の言葉を届けていただくなど燃料費の高騰により影響を受けた市内運送事業者等への経営支援につながった非常に良い事業であったと認識
⑥ 古賀西小と花鶴小のトイレ改修工事 に2億977万円を補正し、次年度に繰り越す措置をした。当初予算に計上せず、このような措置をした理由と財政運営への影響をどのように認識しているのか。	●国の令和4年度補正予算成立に伴い、市にとって有利な地方債の発行ができるためであり、市財政にとってプラスに働くと認識
⑦ 補正予算案の提案理由の説明 は今回のような口頭でよいと認識しているか。	●事業毎に理由があり、その理由は資料で示している。主な事業を提案理由として説明した

<コメント>補正予算の基本的方針を説明する文書が必要。口頭説明は改めるべきと指摘した。

